

日中韓における都市社会の高齢化 —その対策と課題—

主催：(財) 東京市政調査会

協賛：韓国ソウル市立大学租税財政研究所、中国復旦大学日本研究センター

日時：2010年12月7日(火) 9:30～17:00

場所：JICA 研究所2F 国際会議場 (〒162-8433 東京都新宿区市ヶ谷本村町10-5)

日本は世界史上まれにみるスピードで高齢化が進んでいますが、実は、東アジアの他の国でも、今後急速な高齢化の進展が確実視されています。韓国は日本と同様少子高齢化が進み、中国の都市部では、一人っ子政策や、戸籍による人口移動の制限から、今後、高齢者人口の急速な増加が懸念されています。そこで、本シンポジウムでは、日中韓の専門家を集め、各国の現状と課題を報告して頂き、来るべき、東アジアにおける都市の高齢化への対策を議論したいと思います。

《報告者と報告タイトル》

日本

新藤 宗幸 (千葉大学法経学部教授)

「高齢型社会における都市行政の課題」

五石 敬路 (東京市政調査会主任研究員)

「高齢者の貧困とユニバーサル・サービス」

吉清 雅英 (東京市政調査会研究員)

「東京におけるバリアフリーなまちづくり」

韓国

朴 奇白 (ソウル市立大学税務専門大学院教授, 租税財政研究所研究部長) 「高齢化と所得分配」

李 相信 (ソウル市立大学税務専門大学院教授, 租税財政研究所研究委員) 「高齢化と税法」

中国

王 桂新 (復旦大学社会発展公共政策学院教授)

任 遠 (Deputy Director of Institute of Population Research, Fudan University)

Productive Aging and Human Resources Exploitation of the Elderly Population

陳 雲 (復旦大学国際公共政策学院長, 副教授) 「流動革命と都市「群租」現象研究」

参加申込

東京市政調査会ホームページよりお申込み下さい (<http://www.timr.or.jp>)

※パソコンをご利用にならない方は、「日中韓シンポジウム参加希望」と明記のうえ、お名前、ご所属、ご連絡先(電話番号、FAX番号)をFAX(03-3591-1279)でお送り下さい。

お問合せ先

担当者: 東京市政調査会 五石 敬路 (03-3591-1330)

参加
無料